

和歌山県感染症報告<速報>

Wakayama Infectious Diseases Report (WIDR)

2011年第41号(週報・月報合併号)

2011年第41週(10月10日~10月16日)、月報9月

◆◆ 注目すべき感染症の動向 ◆◆

— RSウイルス感染症 : 患者報告数は例年と同程度まで減少。 —

県全体の定点当たり患者報告数は、0.32人(前週:0.87人)と減少し、過去5年間の同時期と比較して同程度となっています。しかし、通常は冬季に流行する感染症ですので、今後の動向に注意が必要です。

また、全国的にも今年は早い時期から増加しており、調査を開始した2003年以降で最も高い水準が続いています。第40週は全国約3,000ヶ所の小児科定点医療機関から1,969人(第39週:1,781人)の報告がありました。

感染経路は、接触感染と飛沫感染ですので、他の感染症と同様、手洗いやうがい等による感染予防を心がけてください。

なお、RSウイルス感染症に警報・注意報レベル基準値は設定されていません。

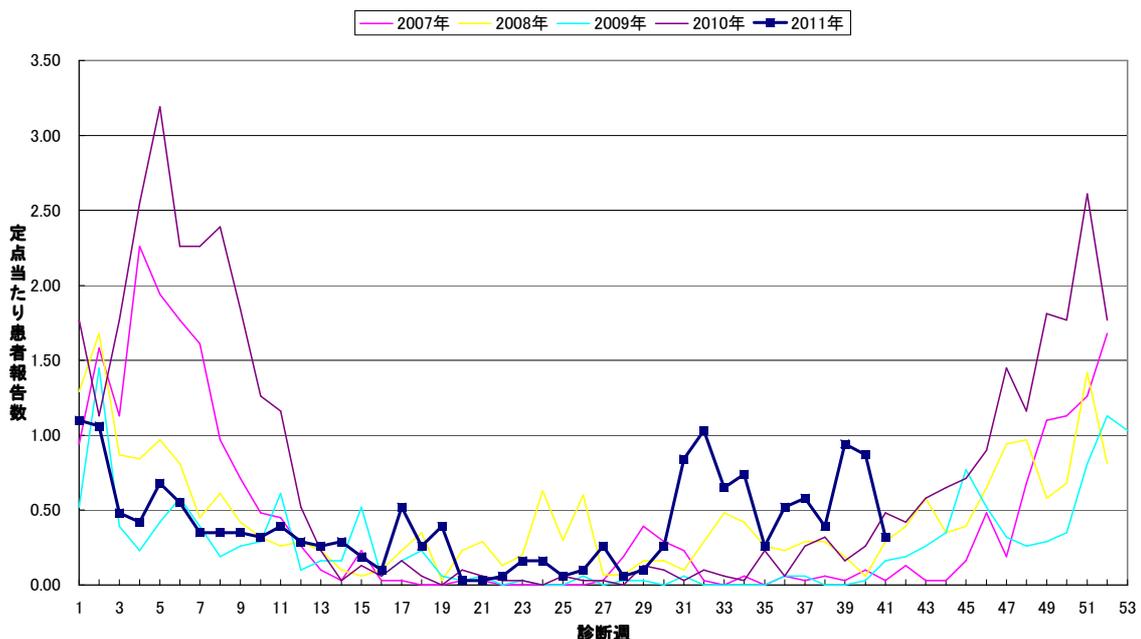
RSウイルス感染症の詳しい説明はこちら

(http://idsc.nih.go.jp/idwr/kansen/k04/k04_22/k04_22.html)

	第38週	第39週	第40週	第41週
和歌山市	0.33	1.00	0.89	0.44
海南	-	0.50	-	-
岩出	1.25	2.00	2.00	1.50
橋本	0.25	-	-	-
湯浅	0.33	-	-	-
御坊	1.00	-	2.50	-
田辺	-	2.75	1.50	-
新宮	-	-	-	-
串本	-	-	-	-

【第38~41週の保健所別定点当たり患者報告数】
(-は報告数なし)

RSウイルス感染症(和歌山県全体)



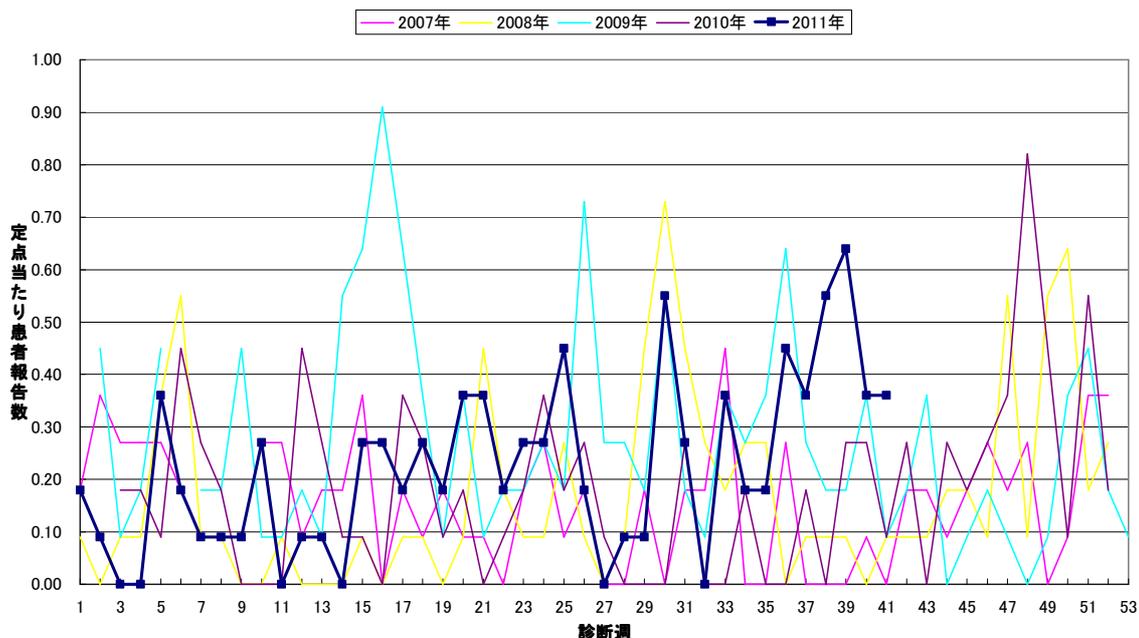
－ **マイコプラズマ肺炎** : **患者報告は横ばいで推移!** －

県全体の定点当たり患者報告数は、0.36人（前週：0.36人）と高い水準で推移しており、第1週から今週までの累積報告数は2009年に次いで多くなっています。

一般的に冬場に患者報告数が多い疾病ですが、今年は全国的に夏場に患者報告数が増加し、その後も高い状況が続いています。そのため、今後の動向には十分注意が必要です。

マイコプラズマ肺炎の詳しい説明はこちら：国立感染症研究所感染症情報センター感染症の話
http://idsc.nih.go.jp/idwr/kansen/k03/k03_09.html

マイコプラズマ肺炎(和歌山県全体)



○ 定点把握感染症の警報・注意報レベル基準値について

疾病	警報レベル		注意報レベル
	開始基準値	終息基準値	基準値
インフルエンザ	30	10	10
咽頭結膜熱	3	1	－
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4	－
感染性胃腸炎	20	12	－
水痘	7	4	4
手足口病	5	2	－
伝染性紅斑	2	1	－
百日咳	1	0.1	－
ヘルパンギーナ	6	2	－
流行性耳下腺炎	6	2	3
急性出血性結膜炎	1	0.1	－
流行性角結膜炎	8	4	－

基準値はすべて定点当たりの報告数です。注意報の「－」は対象としないことを意味します。

◆◆ 全数把握感染症について ◆◆

<届出状況>

- 1) 当該週に診断された感染症のみ掲載しています。
 - 1類感染症：報告はありませんでした。
 - 2類感染症：結核3名
 - 3類感染症：報告はありませんでした。
 - 4類感染症：日本紅斑熱2名、
 - 5類感染症：報告はありませんでした。

- 2) 第1週から当該週までに診断された患者報告数を掲載しています。

疾病名	報告数
結核	383
細菌性赤痢	1
腸管出血性大腸菌感染症	7
E型肝炎	1
A型肝炎	1
つつが虫病	4
日本紅斑熱	16
レジオネラ症	2
アメーバ赤痢	4
クロイツフェルト・ヤコブ病	1
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	3
後天性免疫不全症候群	8
ジアルジア症	1
梅毒	4
破傷風	2

◆◆ 5類定点把握感染症（週報）について ◆◆

<各保健所の警報注意報レベル状況>

警報レベル

ありません。

注意報レベル

ありません。

<年齢階級層別の患者報告数（和歌山県）>

（インフルエンザ）

		総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10～14	15～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80歳～
インフルエンザ	報告	2	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
	定当	0.04	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-

（小児科定点対象感染症）

		総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10～14	15～19	20歳～
RSウイルス感染症	報告	10	3	1	3	1	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-
	定当	0.32	0.1	0.03	0.1	0.03	0.03	-	-	-	-	-	0.03	-	-	-
咽頭結膜熱	報告	4	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	1	-	-
	定当	0.13	-	-	-	0.03	0.06	-	-	-	-	-	-	0.03	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告	15	-	-	-	2	1	2	2	1	1	2	1	3	-	-
	定当	0.48	-	-	-	0.06	0.03	0.06	0.06	0.03	0.03	0.06	0.03	0.1	-	-
感染性胃腸炎	報告	33	-	4	6	4	4	5	1	-	2	2	-	4	1	-
	定当	1.06	-	0.13	0.19	0.13	0.13	0.16	0.03	-	0.06	0.06	-	0.13	0.03	-
水痘	報告	12	-	1	-	4	4	1	-	-	1	1	-	-	-	-
	定当	0.39	-	0.03	-	0.13	0.13	0.03	-	-	0.03	0.03	-	-	-	-
手足口病	報告	38	-	1	6	8	10	5	6	1	-	-	-	-	-	1
	定当	1.23	-	0.03	0.19	0.26	0.32	0.16	0.19	0.03	-	-	-	-	-	0.03
伝染性紅斑	報告	18	-	-	1	1	1	3	7	3	-	2	-	-	-	-
	定当	0.58	-	-	0.03	0.03	0.03	0.1	0.23	0.1	-	0.06	-	-	-	-
突発性発疹	報告	19	-	8	8	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	0.61	-	0.26	0.26	0.1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳	報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	報告	5	1	-	1	1	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-
	定当	0.16	0.03	-	0.03	0.03	-	-	-	-	0.03	-	0.03	-	-	-
流行性耳下腺炎	報告	16	-	-	-	1	1	5	1	-	3	1	-	3	-	1
	定当	0.52	-	-	-	0.03	0.03	0.16	0.03	-	0.1	0.03	-	0.1	-	0.03

<保健所別の患者報告数（和歌山県）>

(-:患者報告がない、…:保健所管内に定点が存在しない)

	和歌山市	海南	岩出	橋本	湯浅	御坊	田辺	新宮	串本
インフルエンザ	2	-	-	-	-	-	-	-	-
	0.13	-	-	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症	4	-	6	-	-	-	-	-	-
	0.44	-	1.5	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	1	-	2	-	-	-	1	-	-
	0.11	-	0.5	-	-	-	0.25	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	-	1	3	-	-	-	9	2	-
	-	0.5	0.75	-	-	-	2.25	1	-
感染性胃腸炎	21	1	4	1	-	-	-	6	-
	2.33	0.5	1	0.25	-	-	-	3	-
水痘	5	2	1	1	2	-	1	-	-
	0.56	1	0.25	0.25	0.67	-	0.25	-	-
手足口病	19	3	2	-	3	-	8	3	-
	2.11	1.5	0.5	-	1	-	2	1.5	-
伝染性紅斑	7	1	6	-	-	-	4	-	-
	0.78	0.5	1.5	-	-	-	1	-	-
突発性発疹	9	-	6	-	2	-	2	-	-
	1	-	1.5	-	0.67	-	0.5	-	-
百日咳	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	-	-	-	-	1	2	-	2	-
	-	-	-	-	0.33	1	-	1	-
流行性耳下腺炎	6	-	1	2	5	1	-	-	1
	0.67	-	0.25	0.5	1.67	0.5	-	-	1
急性出血性結膜炎	-	…	…	…	…	…	-	…	…
	-	…	…	…	…	…	-	…	…
流行性角結膜炎	-	…	…	…	…	…	-	…	…
	-	…	…	…	…	…	-	…	…
細菌性髄膜炎	-	…	-	-	-	-	-	-	…
	-	…	-	-	-	-	-	-	…
無菌性髄膜炎	-	…	-	1	-	-	-	-	…
	-	…	-	0.5	-	-	-	-	…
マイコプラズマ肺炎	1	…	-	-	-	1	2	-	…
	0.33	…	-	-	-	1	1	-	…
クラミジア肺炎	-	…	-	-	-	-	-	-	…
	-	…	-	-	-	-	-	-	…

<院内感染症の動向>

9月の定点当たり患者報告数は、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症が2.73人(8月:3.09人)と最も多くなっています。患者報告数が最も多い年齢階級層は、70歳以上で全体の2/3を占めています。その他の感染症は、毎月0～数名と和歌山県では特に多くはありません。

【9月の年齢階級層別の患者報告数(和歌山県)】

		総数	0歳	1～4	5～9	10～14	15～19	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70歳～
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	報告	30	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	1	-	3	3	20
	定当	2.73	-	-	-	-	-	-	-	0.09	-	0.18	-	0.09	-	0.27	0.27	1.82
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	報告	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
	定当	0.27	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.27
薬剤耐性緑膿菌感染症	報告	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	定当	0.09	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.09
薬剤耐性アシネトバクター感染症	報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

和歌山県感染症情報 (WIDR) 2011 年第 36 号

発行日：平成 23 年 9 月 15 日

発行元：和歌山県感染症情報センター

(和歌山県環境衛生研究センター内)

和歌山市砂山南 3-3-45

TEL 073-423-9570

E-mail e0318011@pref.wakayama.lg.jp

URL <http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/031801/kishukko>

(お問い合わせ先)

和歌山県福祉保健部健康局難病・感染症対策課

和歌山市小松原通一丁目1番地

TEL 073-441-2643

E-mail e0503001@pref.wakayama.lg.jp

この WIDR は感染症新法に基づいて実施されている感染症発生動向調査から作成しています。ここに掲載した情報はあくまでも速報であり、今後の調査結果で訂正される可能性がありますのでご注意ください。